

特集 緊急消防援助隊 岩手県大船渡市林野火災 五城目消防の19日間の奮闘

令和7年2月26日に岩手県大船渡市で発生した林野火災は、地域の暮らしを脅かしました。町消防本部は緊急消防援助隊として出動し、延べ19日間にわたり消火活動と警戒活動に全力で取り組み、住民の命と自然を守るため尽力しました。

今号では、町消防本部が大規模林野火災に挑んだ19日間の記録を紹介します。

火災の概要

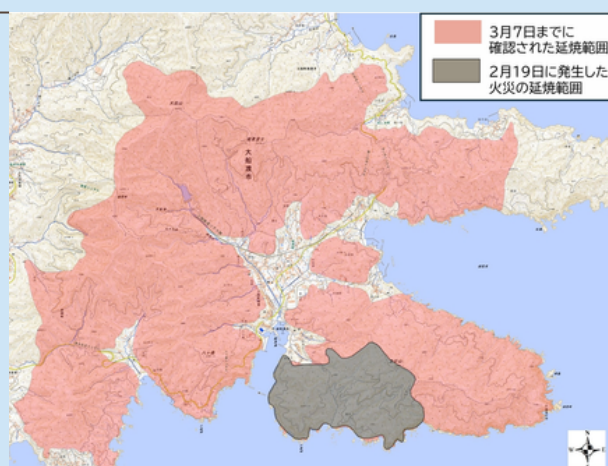
1 出火日時等

- ・ 出火時刻：令和7年2月26日 時分不明
- ・ 覚知時刻：令和7年2月26日 13時02分
- ・ 鎮圧時刻：令和7年3月9日 17時00分
- ・ 鎮火時刻：令和7年4月7日 17時30分

2 出火場所 大船渡市赤崎町合足地内

3 延焼範囲 約3,370 ha（2月19日に発生した火災の延焼範囲（地図のグレー部分）を除く。）

4 死傷者 死者1人、負傷者なし



参考：「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会報告書」（総務省消防庁）

出動概要

1 派遣場所：岩手県大船渡市

2 派遣期間：令和7年2月26日～3月16日（19日間）

3 派遣職員数：第1次派遣隊～第6次派遣隊まで延べ36名

4 派遣車両：五城目タンク1（消火小隊）、五城目搬送1（後方支援小隊）



左：五城目タンク1 右：五城目搬送1

現地での活動内容

1 消火活動

山林は斜面や谷間が多いため近づきにくく、火の粉が飛んで火災が広がる可能性があります。そうした中、山火事に効果的とされる「CAFS」（キャフス）といった消火システムや、背負い式消火水のうといった資器材を活用し、消火活動を実施しました。（CAFS・背負い式消火水のうについての詳細は次ページに掲載）



夜通しの消火活動にあたる隊員

2 巡視警戒活動

林野火災では、表面上では火が消えていても、木の根本や落ち葉の下に残っている火が再燃する可能性があります。そこで、熱画像直視装置を活用し、火源がないか山林を丁寧に確認しながら、巡視警戒活動を実施しました。

（熱画像直視装置についての詳細は次ページに掲載）

巡視警戒にあたる隊員

